

平成 2 8 年 度

事 業 計 画 書

平成 28 年度 公益財団法人京都産業 2 1 事業計画

〇はじめに

日本銀行の地域経済報告（さくらレポート、平成 28 年 1 月）によれば、「我が国の景気は、輸出や生産面に新興国経済の減速に伴う影響などが見られるものの、国内需要は、設備投資が緩やかな増加基調にあり、個人消費も雇用・所得環境の着実な改善を背景に底堅く推移していることなどから緩やかな回復が続けている」との見方が示され、各種経済研究機関においても概ね同様の見方が示されている。

その一方、府内の中小企業においては、円安による輸入原材料の高騰や有効求人倍率の上昇による人材確保難など必ずしもすべての業種に景気回復の効果が行き渡っていないのが実状である。

このような状況の中、当財団は、「京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業」や「京都ビジネス交流フェア」、「成長のための経営戦略講座（同志社ビジネススクールとの共同企画）」、「京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト」、「ミライミーティング（後継者マッチング）」など府内中小企業の経営の安定と持続的成長のため、起業・創業や事業承継、新商品開発、設備投資、販路開拓、人材育成、人材確保などその発展段階に応じたきめ細かい支援に取り組んできた。

また、先端技術の研究開発等を行うオープンイノベーション拠点として昨年 4 月にオープンした「けいはんなオープンイノベーションセンター」（KICK）においては、既に 13 のプロジェクトが入居して本格的に研究開発を開始したところであり、これらの活動の促進、支援を通じて、KICK 発のイノベーションの創出や新規プロジェクトの開拓に向けて、新たにに取り組んでいるところである。

経済・産業のグローバル化が進展する中、中小企業を取り巻く経営環境は、中国経済の減速、資源価格の低下、アメリカの利上げ、中東地域の不安定化、地球温暖化、少子・高齢化等々国内外で発生する様々な問題が複雑に絡まりあい、ますます一筋縄ではいかなくなってきている。

日銀は、年明けからの世界的な金融市場の混乱を踏まえて金融政策決定会合で初めて「マイナス金利政策」の導入を決定したところである。

このような難しい状況の中、府内の中小企業が、引き続ききらりと光り輝き、その存在感を発揮し続けるためには、国内外に高付加価値で、高品質な京都ならではの提案を行っていくことが必要となってくる。

このため、当財団としては、府、大学、商工会議所、商工会、中央会など様々な産業支援機関としっかりと連携協力し、京都の長い歴史の中で育まれてきた文化、伝統、知恵など京都のありとあらゆる資源を最大限に活用しながら、製造業をはじめ、商業・サービス業を含めたより広範な府内中小企業の経営基盤の強化はもとより、「攻めの経営」に必要な中核人材の確保や「事業承継」「事業創生」の支援、広域的な連携による受発注の促進、付加価値力の向上による下請け受注体質からの脱却・自律化、知恵の経営や経営革新、オープンイノベーションに対応した新連携、医療・介護などライフサイエンス分野への新規参入など、より一層きめ細かな伴走支援に総力を挙げて取り組んでいくとともに、それを推進するための当財団の体制強化を図っていきたい。

○平成 28 年度事業計画

1 相談・広報

(1) 専門家派遣・窓口相談事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金）

専門的知識を有する者を活用した適切な指導・助言、総合相談窓口とよろず支援拠点とが連携して、日常的に経営上の相談に応じて、経営課題等の問題解決の支援を希望する中小企業者等を総合的かつ伴走的に支援する。

(2) 情報提供事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金）

多彩でタイムリーな産業情報、支援機関情報等、企業経営をサポートする情報を各種メディアを活用し広く提供し、中小企業者等の経営を総合支援する。

- 情報誌「クリエイティブ京都M&T」発行
- バージョンアップしたホームページの活用
- メールマガジン配信

(3) 専門的・高度人材活用事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金）＜ビジネス・スーパーバイザーによる事業評価及び指導＞

経営の向上を目指す支援を希望する中小企業者を対象に、ビジネス・スーパーバイザーによる経営・事業計画等に対する審査、助言、指導等を実施する。

- ビジネス・スーパーバイザーの配置

(4) ワンストップ相談機能の強化

お客様相談室、よろず支援拠点、京都中小企業事業継続・創造支援センターを一体的に運用し、質的、量的にワンストップ機能を拡充する。

なお、よろず支援拠点のサテライトを京都産業21北部支援センター（京丹後市）に置く。

- よろず支援拠点窓口（総合支援会計）

- ①総合的・先進的経営アドバイス
- ②課題に応じた適切なチーム編成を通じた支援 等

2 経営課題の解決

(1) 販路開拓

ア 受発注情報提供事業(京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金)

中小企業に対する取引あっせん等の支援のための受発注情報の収集とともに、地域の産業・経済、中小企業の動向等について現状や問題点を把握するため、中小企業の経営動向等に関する調査・分析を実施する。

イ マーケティング支援事業(京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金、企業出展料、協賛広告料)

受発注取引あっせんをはじめ、京都ビジネス交流フェアの開催等を通じて、新規取引先の開拓、事業拡大、新分野への進出など中小企業者等の受注機会の拡大を支援する。

- 受発注取引のあっせん
- 京都ビジネス交流フェア2017の開催
- 広域商談会の開催

ウ 北京都ものづくり拠点構想推進事業(京都府補助金 北京都ものづくり拠点構想推進事業補助金)

●北京都ものづくりパーク創設・推進事業

中丹・丹後地域を中心に産学公が一体となって、きめ細かな支援体制の充実・整備を進める。そのため、北部産業技術支援センター・綾部内に設置されている「北京都ものづくりパーク」に、経営支援相談員を派遣する。

●企業イノベーションに向けた成長促進支援事業

中丹・丹後地域のものづくり企業がイノベーションに向けた成長を図るため、中小企業の自己研鑽や企業間の水平的連携、進出大企業やベンチャー企業、大学等との連携を促進する。

- ・経営者塾(経営者が集い意見交換・情報交換・連携)
- ・現場力向上ワーキング塾(3S・3定活動の取組み)
- ・先進的企業等との交流
- ・商談会・技術情報交換会の開催
- ・新技術等技術レベルアップを図るための大学等による専門家セミナー開催

エ アライアンス推進支援事業

(京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト P10で掲載)

オ 試作産業推進事業

試作産業の推進を通じて、府内中小企業の技術力やイノベーション力の向上を図り、新分野進出や新規顧客開拓を促進するための試作プラットフォームの運営を支援する。

カ 京都「新文化産業」強化支援事業（京都府補助金 伝統と文化のものづくり産業総合振興支援事業費補助金）

「伝統と文化のものづくり産業振興条例」に基づき、産地組合や企業グループ等が実施する新商品開発や販路開拓、人材育成、制作実演などの取組を支援する。

キ 京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業（京都府補助金 京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業補助金）

自社の強みを活かし新商品・新サービス開発や新分野進出などの新規事業に取り組む中小企業等を対象に、市場調査、試作・開発、販路開拓、設備投資等その推進に向けての取組を支援する。

（２）設備投資

ア 小規模企業者等ビジネス創造設備貸与事業（割賦・リース）〔京都府借入金、（独）中小企業基盤整備機構借入金〕

創業者及び経営革新に取り組む小規模企業者等に対し、設備の割賦販売・リースを実施する。

イ 京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業（再掲）

ウ 【新規】「京（みやこ）産業創生の森」推進事業（京都府補助金 「京（みやこ）産業創生の森」推進事業費）

伝統産業の森、和食文化の森、映画・映像の森、スマートシティ産業の森、次世代ものづくり産業の森を創成し、企業単独の取組だけではなく、京都の強みを活かした「新たな産業文化」を形成する。そのため、産学公連携、異業種連携等による新たな商品・サービス・ビジネスモデル等の開発・実現を目的にグループ形成、市場調査、試作・開発、設備投資、販路開拓までを一貫支援する。

（３）人材の育成

ア 事業後継者育成カレッジ事業 （総合支援会計）

中小企業の若手経営者等を対象にした実践的かつ体系的なセミナーを開催して、府内中小企業の事業後継者の人材を育成する。

イ 未来志向型経営人材育成事業

（京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト P10 で掲載）

ウ 北部産業活性化拠点・京丹後推進事業（京都府補助金、京丹後市負担金）

丹後地域を中心とした地場ものづくり産業の一層の成長と次世代の産業振興を目的に、ものづくり人材の育成・確保、地域の新たな産業振興を通じて、中小企業の総合支援を行う「丹後・知恵のものづくりパーク」を運営する。

●丹後ものづくり等人材育成推進

●機械器具貸付（機械・金属関係、織物関係）

●受発注取引のあっせん

(4) IT（情報技術）の活用

ア IT活用促進支援事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金）

中小企業者等のIT 経営による業務改善、経営革新などに関するセミナー等を開催し、中小企業におけるIT の普及啓発を支援する。

イ 広域連携ネットワーク事業（その他会費）

京都府域の情報通信格差を是正するため、京都府が運営する高度情報通信基盤「京都デジタル疎水ネットワーク」のインターネット接続の一部を受け持ち、多様な分野の活動を支援する。

(5) 貿易・海外市場の進出

京都企業市場開拓支援事業（京都府補助金 「Kyoto Japan」海外戦略プロジェクト補助金）

- 京都産業21 上海代表処を中心に中国をはじめとしたアジアでの府内中小企業の販路開拓支援を行うとともに、対日投資促進、海外のバイヤー招聘による商談会、舞鶴港を拠点とした貿易、インバウンドなど伴走型支援を実施する。
また、中小企業の経営力向上につながる、インターネットを活用した海外取引の方法等についても情報の収集、提供に取り組んでいく。
- 国際見本市への「京都ブース」出展や商談会などを実施する。

3 経営革新・企業連携・新事業の展開

(1) 経営・事業計画の支援

ア 中小企業研究開発等応援事業受託事業（京都府受託金）

京都府中小企業応援条例に基づき実施される研究開発等事業計画の認定制度及び中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新計画の承認制度について、関係機関と連携し、相談、事前指導、助言、意見聴取会議、フォローアップに関する業務を実施する。

- 京都府元気印中小企業認定制度の普及啓発、推進
- 経営革新計画承認制度の普及啓発、推進

イ 地域産業研究開発支援事業（特定資産運用益）〈技術顕彰（京都中小企業技術大賞等）〉

京都産業の技術水準の向上のため、優れた技術・製品の開発に成功した中小企業及び技術者を表彰する。

ウ 知恵の経営の推進

（一社）京都発明協会が運営する京都府知的財産総合サポートセンター事業の「知恵の経営」評価・認証について連携して取り組むとともに、府中小企業技術センターと知財、経営等のワンストップサービスの提供支援を行う。

(2) 起業・創業・事業継続

ア 中小企業事業継続・創生支援センター事業

「京都中小企業事業継続・創生支援センター」を設置し、京都事業継続・起業支援ネットワークの支援機関や市町村等との連携により、後継・起業を希望する人材の発掘・育成、地域での受入促進等を図るとともに、後継者不在企業と創業希望者等とのマッチング、京都ジョブパーク・民間人材ビジネス会社等と連携した中核人材の確保支援などを実施し、「事業の継続（承継等）」「事業の創生（起業等）」を支援する。

●プロフェッショナル人材戦略拠点事業（京都府受託金）

企業が新たな取組を積極的に挑む「攻めの経営」へ転換するために、「プロフェッショナル人材戦略拠点」スタッフによる企業訪問や専門家派遣等を通じて企業の課題抽出や解決に向けた助言等を行うとともに、京都ジョブパーク、民間人材ビジネス会社等と連携して「攻めの経営」に必要な中核人材（プロフェッショナル人材）の確保を支援

●事業継続・創生支援強化事業（京都府受託金 雇用創出プロジェクト P11）

京都ジョブパークや移住コンシェルジュ等のU・I・Jターン施策、大学や市町村等との連携により、後継・起業を希望する人材を発掘するとともに、後継者・起業者を対象とした支援・育成事業を実施

●事業継続・創生支援センター運営事業（京都府受託金）

後継者不在企業と創業希望者等とのマッチング等を支援

(3) 企業連携

ア 【新規】「京（みやこ）産業創生の森」推進事業（再掲）

イ 交流連携促進事業

企業連携や産学連携の促進を図るため、中小企業者等による既存及び新規グループの活動を支援し、また、製品開発型京都企業等の大学・企業等とのマッチングの促進を図る。

また、今後連携を模索する企業等へ講演会・交流会の開催を通じ、異業種企業の交流・連携を促進し、中小企業の活性化を図る

ウ オープンイノベーション推進事業（京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト P10 で掲載）

エ K I I C(京都産業創造クラブ) 事業（正会員会費）

研究会及び倶楽部活動を通じ、企業間の連携を図るとともに、参加会員の経営基盤の向上と新規事業の立案や新分野進出等をバックアップする。

(4) 産学公連携

ア 交流連携促進事業（再掲）

イ オープンイノベーション促進事業（再掲）

ウ 地域産業育成産学連携推進事業（京都府補助金 「企業の森」支援事業費）

「けいはんなオープンイノベーションセンター」などの「京都イノベーションベルト構想」の対象地域内の各産学連携拠点における共同研究開発の展開に繋げ、京都経済の次代を担う新産業・新事業の創出による地域経済の活性化を図ることを目的に産学連携による本格的な共同研究開発プロジェクトの組成のために必要な資金支援を実施する。

エ 産学公連携推進事業（京都府補助金 産学連携補助金）

京都大学吉田キャンパス内に開設された「国際科学イノベーション棟」での活動と連携し、大学等研究機関から発生する困難試作等の受注に向け、必要となる初期実験や検証作業、基礎技術の習得等を支援することにより、京都企業の受注に結びつけるなど、大学の研究現場に密着した活動を実施する。

(5) 新産業育成・地域振興

ア きょうと元気な地域づくり応援ファンド事業（京都府借入金及び地元金融機関等借入金運用益）

多種多様な地域資源の活用により、新事業の創出や販路開拓を行う中小企業者に、（独）中小企業基盤整備機構が行う地域中小企業応援ファンド融資事業を活用し、府内地元金融機関の協力を得た総額50億円のファンドの運用益で助成を行うことにより、府内中小企業者の経営の革新、創業等の促進を図る。

また、商品の販路拡大に向けた展示会への出展や、専門家派遣等の支援を行う。

平成25年度から府市協調して、京都産業育成コンソーシアムによる京都知恵産業支援共同事業を実施。

イ きょうと農商工連携応援ファンド事業（京都府借入金及び地元金融機関等借入金運用益）

農林漁業者と中小企業者の連携体がそれぞれの強みを活かしながら、新商品の開発や販路開拓等に取り組む事業に対して、（独）中小企業基盤整備機構が行う農商工連携型地域中小企業応援ファンド融資事業を活用し、府内地元金融機関等の協力を得たファンド（総額25億2千万円）の運用益で助成を行うことにより、農商工連携による地域産業の高付加価値化を図る。

ウ ベンチャー企業ソフト支援事業（京都府補助金 ベンチャー企業ソフト支援事業補助金）

ベンチャー企業等の研究開発を効果的に支援し、円滑な事業化を実現するため、経営・技術の各種専門家の派遣やマッチング事業、産学交流会を実施し、ベンチャー企業等へのソフト面の支援を行う。

エ 外国出願支援事業（国支援事業）

特許等を戦略的に活用し、海外での事業展開及び経営向上を目的に府内中小企業者が、外国への特許出願又は意匠・商標登録出願する場合の費用の一部を助成する。

オ けいはんなオープンイノベーションセンター管理運営事業（京都府交付金）

平成27年4月から当財団が管理運営を開始した京都府の「けいはんなオープンイノベーションセンター」（KICK）について、入居者の募集、施設運営を行う他、専門コーディネータによる研究交流の促進や大学発ベンチャー等の資金面のサポートなどのソフト支援を実施する。

4 新事業創造・正規雇用創出

京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト（セカンド・ステージ）

（京都府受託金、京都府補助金、京都市負担金）

厚生労働省「戦略産業雇用創造プロジェクト」の採択を受け、「オール京都」体制のもとで、産業政策と雇用政策を一体的に推進することにより、府内ものづくり産業の新事業創造と雇用創出を図る京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト（事業実施期間：平成 25 年度～27 年度）は、アウトカム目標（雇用創出人数）を大きく上回るなど、全国トップクラスの成果を挙げることができた。（実績 3,500 人／目標 2,000 人）

平成 28 年度からは、これまでの成果を更に発展させるため、新たに厚生労働省の採択を受け、グローバル化やデジタル化、IoT/loE の急速な進展や人材確保・育成・定着等の新たな課題に対応しながら、府内ものづくり産業の新事業創造と付加価値力向上による持続的成長と質の高い安定した雇用の創出・拡大を目指すセカンド・ステージ・プロジェクトを推進する。（事業実施期間：平成 28 年度～30 年度、アウトカム目標（雇用創出人数）：3,000 人（各年度 1,000 人）

<京都産業 21 実施事業分>

●プロジェクト統括マネジメント事業

プロジェクトの統括機関として、財団内に「同プロジェクト推進センター」を設置し、プロジェクト全体の進捗管理や事業間の横断調整などのプロジェクトマネジメントを実施する。

●「全員参加型」イノベーション創造支援事業

高収益化や生産性の向上等、イノベーションに取り組む府内ものづくり中小企業者に対し、その推進に必要な中核人材や高齢者、女性、ポストク等の若年者など、多様な人材を確保するための支援（人件費補助）や高度専門家の派遣による助言・指導等の支援を行う。

●未来志向型経営人材育成事業

企業の継続・発展の隘路であり、活動の根幹である経営人材の育成及び起業家精神を持ったイノベーションを実践できる社内人材の育成を通じて、経営力の向上を図るとともに、企業の成長を支援する。（コーディネータによる経営課題助言等の伴走支援、各種講座の開催等）

●オープンイノベーション促進事業

国家戦略特区等を活用しながら、コーディネータによる伴走支援等により、他の企業や大学・研究機関との連携によるプロジェクト形成や先進的な研究開発、製品化等の取組、K I C K への研究機関の集積、更に、ベンチャー企業の育成等を支援する。

●アライアンス推進支援事業

府内ものづくり中小企業と大手・中堅メーカーとの企業間連携の促進を通じて、府内企業のビジネスチャンスの拡大を図るため、技術ニーズ商談会の開催、海外展開支援、展示商談会への京都ブース出展を行う。

●北京都産学連携事業化推進事業

府北部企業の技術ニーズと大学のシーズとのマッチングを促進する大学研究者等による研究成果発表会の開催やニーズの高い技術をテーマにした大学

研究者等による技術セミナーの開催等、産学公連携プロジェクトの形成をコーディネータが伴走支援する。

●京都ライフサイエンスプロジェクト成長展開事業

府内ものづくり企業が有する高い技術力や製品開発力を活かし、今後、成長が期待されるライフサイエンス分野（医療、介護、健康、食品）での事業拡大や新規参入等を支援する。また、京都に強みがあり今後のビジネス化が期待されるiPS細胞関連のビジネス人材の育成を進める。（医療・介護機器相談窓口の設置、セミナーやマッチング交流会の開催等）

●京都IoT／IoE産業創出事業

府内ものづくり企業が有する精密な加工技術を活かし、ものづくり産業とICT産業、サービス産業とのコラボによるIoT／IoE産業への参入や新商品開発を支援するため、これら3領域の企業群に横串を通したチーム形成の促進や実証フィールドの確保、個別開発案件のマッチングを支援する。

●「京の食」ブランド推進プロジェクト

多様な京都の食文化を活かし、食品製造業界と伝統産業、農林水産業、飲食業等がコラボした加工・調理食品に係る「京都ブランド」の展開・発信により、海外を含めた販路拡大を支援する。

●京都版エコノミック・ガーデニング推進事業

府内ものづくり中小企業の強みを活かした新商品・サービス・ビジネスモデルを開発する新規事業計画の実践に向けて、試作・研究から、設備投資、商品開発、販路拡大活動までをコーディネータが伴走型で一貫支援する。

●事業継続・創生支援強化事業

府内外の創業者予備軍の掘り起こしや府内での新規創業を促進するため、財務・人的基盤の脆弱な創業者や中小企業等に対し、経営面や人材面等で支援や横断的ビジネスの創出等を専門コーディネータが伴走型で支援する。

<京都産業21から再委託実施事業分>

- 京都エコ・エネルギー産業成長推進事業
- けいはんな分野融合・販路開拓事業
- 海外試作・開発試作推進事業
- 高度分析試験機器利用促進・人材育成事業

<京都府直接実施事業分>

- 「Cross Kyoto」コンテンツ企業等支援ネットワーク事業
- 新文化産業発展強化支援事業
- ものづくり企業人財確保・定着プロジェクト事業